

Subject: 日本保健物理学会 新Newsletter 2017年2月14日号
From: 一般社団法人日本保健物理学会 <exec.off@jhps.or.jp>
Date: 2017/02/14 17:33
To: <exec.off@jhps.or.jp>

日本保健物理学会 新Newsletter 2017年2月14日号

1. 学会関連情報

- 日本保健物理学会第50回研究発表会・日本放射線安全管理学会第16回学術大会合同大会（大分市）
一般演題申請の期限が2月22日（水）まで延期されました。
学生であれば、準学生会員（学会費納入要件なし）になるなどを利用して、研究成果を、また、多くの会員には、研究成果だけでなく、日頃の実践経験報告を演題していただき、合同大会に参加していただくようお願いいたします。
<http://www.jhps.or.jp/jhps50/index.html>

- 日本保健物理学会シンポジウム「福島事故を内部被ばくから考える」開催
体外計測に関する標準計測法の策定に関する専門研究会&内部被ばく影響評価委員会
三部構成です。第三部では、両委員会における福島事故における内部被ばくに関する総合討論を行います。
皆様、奮ってご参加ください。
(2017年3月24日（金） 13:45?18:30、東京大学 工学部2号館212講義室)
<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/news/page.cgi?id=48>

- 「低線量・低線量率リスク推定法専門研究会」の第4回会合開催
(平成29年2月21日（火）13:30?、量研機構 東京事務所会議室 富国生命ビル 17階)
<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/news/page.cgi?id=51>
研究会委員以外の方につきましても希望があればオブザーバとして参加が可能です。
会場の大きさ等の都合上、参加を希望される方は事前にご一報いただけますようお願いいたします。
連絡・問合せ先 研究会幹事 電力中央研究所 佐々木 michiyaアットcriepi.denken.or.jp ※アットは@に変換して下さい。

- 「内部被ばく影響評価」委員会の28年度第3回会合開催
(3月13日（月）13:30?16:00、TKP東京駅八重洲カンファレンスセンター カンファレンスルーム9A)
学会員の方はオブザーバとして参加が可能です。
会場の大きさの都合上、参加を希望される方は事前にご一報いただけますようお願いいたします。
問合せ先：石川徹夫（福島県立医科大学）isikawatアットfmu.ac.jp ※アットは@に変換して下さい。

○放射線防護標準化委員会「学会標準」公衆審査 意見の受付（平成29年2月2日から3月3日）
「女性放射線業務従事者の妊娠期間中の線量管理方法」
<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/news/page.cgi?id=49>

○国際対応委員会 国際放射線防護学会（IRPA）ニュースレターNo. 12を翻訳・公開
IRPAのニュースレターであるIRPA Bulletinの邦訳版を作成し、IRPAのホームページに公開されました。（2月13日）
[http://www.irpa.net/members/54592/%7B06D6F9DF-DA95-46BD-B361-76F84F4CB370%7D/IRPA%20Bulletin%2012%20\(Japanese\).pdf](http://www.irpa.net/members/54592/%7B06D6F9DF-DA95-46BD-B361-76F84F4CB370%7D/IRPA%20Bulletin%2012%20(Japanese).pdf)

2. 関連する研究動向

（論文情報）

○Environ Health Prospect : 125, 223-229, 2017

原爆被ばく者の男性乳がんの絶対リスクは低いが、相対リスクは女性よりも高い。

Male Breast Cancer Incidence and Mortality Risk in the Japanese Atomic Bomb Survivors ? Differences in Excess Relative and Absolute Risk

from Female Breast Cancer

Mark P. Little and Damien M. McElvenny

<https://ehp.niehs.nih.gov/wp-content/uploads/125/2/EHP151.alt.pdf>

○Health Physics :Vol 112(3), p 282-293

緊急時におけるバイオアッセイを用いた小児の線量評価と医療措置実施判断に用いる参考レベルを年齢別に導出。

Monitoring and Dose Assessment for Children Following a Radiation Emergency Part I: Reference Values for In Vitro Bioassay

Alves dos Reis, Arlene et al

http://journals.lww.com/health-physics/Abstract/2017/03000/Monitoring_and_Dose_Assessment_for_Children.7.aspx

○PLOS ONE January 27, 2017

2015年時点の千葉県東葛地域の空間線量の詳細測定及び外部被ばく線量の推定。

Detailed Distribution Map of Absorbed Dose Rate in Air in Tokatsu Area of Chiba Prefecture, Japan, Constructed by Car-Borne Survey

4 Years after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident

Kazumasa Inoue et al

<http://journals.plos.org/plosone/article?id=10.1371/journal.pone.0171100>

○Radiat Prot Dosimetry (2017) 1-7.

Tc-99m SPECT実施時の医療従事者の被ばく線量評価。線量に寄与する因子として、患者へのアイソトープの投与量と処置後の時間は独立していることを示した。

RADIATION EXPOSURE TO OPERATORS PERFORMING PHARMACOLOGIC STRESS TESTING IN ^{99m}Tc MYOCARDIAL PERFUSION IMAGING: A PROSPECTIVE STUDY

Tadaki Nakahara et al

<https://academic.oup.com/rpd/article/doi/10.1093/rpd/ncx001/2938001/RADIATION-EXPOSURE-TO-OPERATORS-PERFORMING>

○Radiat Prot Dosimetry (2017) 1-6.

先天性心臓病患者(新生児から17歳)に対する複数回のカテーテル検査からの累積線量評価、累積実効線量が250mSvを超える可能性があることを示した。

Cumulative Effective and Individual Organ Dose Levels in Paediatric Patients Undergoing Multiple Catheterisations for Congenital Heart Disease

T. P. Jones et al

<https://academic.oup.com/rpd/article/doi/10.1093/rpd/ncx003/2938003/Cumulative-Effective-and-Individual-Organ-Dose>

○Scientific Reports 7, Article number: 41580 (2017)

ストロンチウム90の慢性被ばくにより骨髄細胞の機能が変化する現象を観察。

DNA damage induced by Strontium-90 exposure at low concentrations in mesenchymal stromal cells: the functional consequences

S Musilli et al

<http://www.nature.com/articles/srep41580>

○Scientific Reports 7, Article number: 41972 (2017)

電子追跡コンプトンカメラを開発し、従来法より多くのホットスポットを一度に撮影することに成功。

First On-Site True Gamma-Ray Imaging-Spectroscopy of Contamination near Fukushima Plant

Dai Tomono et al

<http://www.nature.com/articles/srep41972>

3. ニュースや社会の動き

○原子力規制委員会 原子力利用の安全対策の強化のための原子炉等規制法、放射線障害防止法等の改正案の国会提出を確認

<http://www.nsr.go.jp/disclosure/committee/kisei/00000204.html>

○ICRP WebサイトでICRPaediaを開始

<http://www.icrp.org/page.asp?id=337>

4. これからのイベント

○公開セミナー「STEM教育に基づくリスクリテラシーの醸成? 「放射線」を題材にして一」(情報提供: 飯本理事)

(平成29年3月29日 14:00-17:30、東京大学 工学部11号館 講義室)

<https://www.radi-edu.jp/2017/02/10/3212>

- 文部科学省 アジア原子力協力フォーラム (FNCA) シンポジウム2017
アジア地域の原子力平和利用における我が国の役割について議論を行う。
(2017年2月13日 9:30?17:00、東京大学工学部2号館 1階 213号大講義室 (本郷キャンパス))
http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/29/01/1381631.htm
- 日本原子力学会等「リスク評価とリスク管理に関するアジア域シンポジウム2017(ASRAM-2017)」
-アジア地域での原子力の安全確保と継続発展を考える- (平成29年11月13-15日、パシフィコ横浜)
問い合わせ: 日本原子力学会標準委員会リスク専門部会
- 京都大学原子炉実験所「臨界安全に関する専門研究会」
(平成29年3月8日 13:30?17:40、京都大学原子炉実験所事務棟大会議室)
https://www.rr.i.kyoto-u.ac.jp/form2/?id=safety_workshop
- NPO法人放射線教育フォーラム「平成28年度第2回放射線教育フォーラム勉強会」
(平成29年3月4日 13:30?16:45、東京慈恵医科大学 高木2号館南講堂)
<http://www.ref.or.jp/>
- 東京工業大学「第6回 国際シンポジウム・セミナー」
(平成29年2月20?22日、東京工業大学 レクチャー・シアター (大岡山キャンパス旧西5号館))
<http://www.dojo.titech.ac.jp/Japanese/Events/index.html>

5. 公募情報、学生・ポスドク受入情報

- 日本原子力研究開発機構 2018卒向け業界・企業研究イベント一覧を公開
<http://www.jaea.go.jp/saiyou/new/event/list.pdf>
- (一財) エネルギー総合工学研究所 プロジェクト試験研究部 原子力グループ 研究員 (正職員) 若干名
(5月31日正午必着)
<http://www.iae.or.jp>
- 量子科学技術研究開発機構 (研究職・キャリア採用) (応募締切: 2月28日必着)
放射線医学総合研究所 放射線障害治療研究部 体内除染研究チーム (1名)
放射線医学総合研究所 臨床研究クラスター 重粒子線治療研究部 (1名)
<http://www.qst.go.jp/information/recruit.html>

○京都大学原子炉実験所 原子力基礎科学研究部門（量子リサイクル工学研究分野） 教授（4月21日必着）

<http://www.rri.kyoto-u.ac.jp/job>

○原子力規制委員会技術参与（放射線施設安全担当）（締切：2月24日）

https://www.nsr.go.jp/nra/employ/20170210_01.html

既発行の新Newsletterはこちらです。

<http://www.jhps.or.jp/newsletter/index.html>

新Newsletterにて発信を希望する情報をお持ちの方は、学会事務局へご連絡・お問い合わせください。

—
【発行】一般社団法人日本保健物理学会

【編集】同企画委員会

【発信元】同学会事務局

TEL: 03-6205-4649 FAX: 03-6205-4659

E-mail: exec.off@jhps.or.jp

—